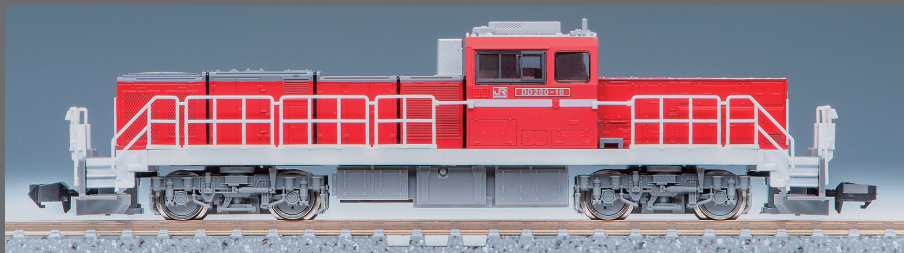




● 従来機とは異なり、一体となって前面手すりに取り付けられたヘッド・テールライトは、ヘッドライトが電球色LEDで点灯し、テールライトが消灯時をイメージした印刷で再現しています。また、前面と側面の選択式ナンバープレートは、量産機の「DD200-9・12・16・21」を用意しています。



● 1エンド側ボンネット上面の冷却ファンは、繊細なモールド表現により、網と羽根を立体的に見せています。また、キャブ（運転室）から僅かに離れて設置されている排気用煙突は、別パーツによりキャブとのわずかな隙間も再現しています。なお、キャブ屋根上の空調装置は別部品を取り付け、ホイッスル、列車無線アンテナは各パーツが付属しています。



● 1エンド側ボンネットの織目ゴムとキャブの窓枠、Hゴムは黒色で印刷しています。また、DF200形ベースのFDT103形台車は、その形状を細部まで再現して、足回りを美感的に仕上げています。



DD200形

DD200形は、非電化区間の貨物列車けん引と貨物ヤード等での入換作業に、長年使用されてきた国鉄時代に製造のDE10形、DE11形液体式ディーゼル機関車を置き換えるために、JR貨物が開発した電気式ディーゼル機関車です。軸配置B-Bで2台車4軸駆動の同形は、DE10形などと同様のセミセンターキャブ構造とされ、ボンネットが長い1エンド側にディーゼルエンジン1基とラジエーター、主発電機が、2エンド側に主変換装置と補助電源装置が搭載されています。また、最高運転速度は、DE10形の85km/hに対して110km/hへと大幅に向上、1軸あたりの重量を低く抑えてDE10形しか入線できないような線区での使用も走行が可能とされました。2017年6月に試作車が登場したDD200形は、その後、増備が行われています。

トミックスではJR貨物最新鋭のディーゼル機DD200形を新たにラインナップいたします。モデルは動力機構にフライホイール付き動力ユニットを採用、銀色車輪を使用し、標準装着するアーノルドMカプラーに代えて使用可能な自連形TNカプラーとダミーカプラー、加えて新たに製作したダミーカプラー受けと台座が付属します。

## DD200形 ディーゼル機関車

JR DD200形ディーゼル機関車  
<2249> 予価¥8,800 (税込)

JR貨物承認済

4月発売予定